

被災地方言会話集

— 宮城県仙台市 —

<場面設定会話>

場面設定会話の概要

収録地点	宮城県仙台市			
収録日時	2012（平成24）年7月13日			
収録場所	宮城県仙台市若林区新井 七郷市民センター会議室			
話題	【場面設定会話】 全13場面			
話者				
A	女	1943（昭和18）年	（収録時69歳）	[Bの友人]
B	男	1937（昭和12）年	（収録時75歳）	[Aの友人]
話者出身地				
A	仙台市若林区荒井（アライ）			
B	仙台市若林区荒井（アライ）			

【場面設定会話】

話し手

A 女 1943 (昭和 18) 年 (収録時 69 歳)

B 男 1937 (昭和 12) 年 (収録時 75 歳)

〈 あいさつ 〉

(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : オハヨー。ドッカイクノー。

おはよう。どこか行くの？

002B : アー キョー アサ テンキイーガラ サンポシット オモッテ。

ああ 今日 朝 天気良いから 散歩しようと思っテ。

003A : シ アツツイガラ キーツケデネー。

うん 暑いから 気をつけてね。

004B : アーイ アリガドー。

あーい ありがとう。

(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : ア コンニチワー。ド ドッカ デガゲル トコナノ。

あ こんにちは。× どこか 出かける ところなの？

002B : イヤー キョー テンキ イーガラワー、ジャガイモデモ ホット

いやあ 今日[は] 天気 良いからね、じゃがいもでも 掘ろうと

思っテ。

オモッテー。

003A : アラ ンデ イッパイ トレタラ マッテッカラネ。

あら それでは いっぱい とれたら 待ってるからね。

仙台市 場面設定会話

004B : アー アノー イッペー モッテンカラー コンバンノ リョーリサ
ああ あの いっぱい 持っていくから 今晚の 料理に

ツカッテケサイン。
使ってください。

005A : アリガトー。
ありがとう。

(3) 夜、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : アラ コンバンワー。ドッカ デカケテキタノ。
あら こんばんは。 どこか 出かけてきたの？

002B : アー キョー ナンダガ アツクテ アツクテ ブラブラシテキタノー。
ああ 今日 なんだか 暑くて 暑くて ぶらぶらしてきたの。

003A : ワー ワタシモ アノ アツ アツガッタカラ イマゴロンナッテ
わあ わたしも あの ×× 暑かったから 今頃になって

サンポシテタノ。 {笑} (B ーン) ンジャーネー。
散歩してたの。 {笑} (B うん) それじゃあね。

004B : ハイ オミョーニズー。
はい また明日。

〈ねぎらい〉

(4) Aが仕事に精を出すBと会い、Bの労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

001A : アラ アツツイノニ ガンバッテッコドー。カラダ キーツケサインヨ。
あら 暑いのに 頑張っていること。 身体[に] 気をつけなさいよ。

002B : ハーイ アリガドー。イヤー ホントニ アツイネー。デモ ヤンネート
はい ありがとう。いやあ 本当に 暑いね。 でも やらないと

仙台市 場面設定会話

ダメダガラ ヤンダケデガスー。
だめだから やるだけです。

003A : ガンバライネ。
頑張ってるね。

004B : ハーイ アリガトー。
はい ありがとう。

〈 勧め 〉

(5) Aが、仕事をしているBに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001A : アラ ガンバッコト。スコシ イップク シナイスカ。
あら 頑張ること。少し ひと休み しませんか？

002B : アー ンダネー。ンデ イップクツケッカー。
ああ そうだね。それでは ひと休みするか。

003A : ン。アラ スコシ オカシ モツテキタカラサ、イッシヨニ タベッチャ。
うん。あら 少し お菓子 持ってきたからさ、一緒に 食べるでしょ？

004B : アヤヤ コイズ ウンメーゴダー。イヤイヤ ナンカ ウレシグナルナヤ。
あやや こいつ[は] うまいこと。いやいや なんか 嬉しくなるなあ。

〈 訪問時の声掛け 〉

(6) 昼間、AがB宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

001A : コンニチワ。イマシタカ。
こんにちは。居ましたか？

002B : アー イダヨー。ハイライン。
ああ 居るよ。入ってください。

003A : アー アリガトー。
ああ ありがとう。

〈 借用の依頼と受託 〉

(7) AがBにスコップを借りるときのやりとり。(Bが貸す場合)

001A : コンニチワー。スコップ カシテケサイン。

こんにちは。スコップ 貸してください。

002B : ハーイ イイヨー。アノ ナヤンドコニ アッカラ モツテテ、
はい いいよ。あの 納屋のところに あるから 持って行って、

モツテ ツカワイン。

持って[行って] お使いなさい。

003A : デ カリルネー。

じゃあ 借りるね。

004B : ハーイ。

はい。

〈 お礼 〉

(8) Aが借りたスコップをBに返しに行ったときのやりとり。

001A : コンニチワー。カ カリタ スコップ カエシニ キタノ。ドーモ

こんにちは。× 借りた スコップ 返しに 来たの。どうも

オセワサマデシタ。

お世話さまでした。

002B : ハーイ ナーヌ、イマ モツテ コナイダツテ イイノヌー。スグデ ナイッテ
はい なに、今 持って 来なくたって いいのに。すぐで なくって

イーンドヨー。

いいんだよ。

003A : ン。デモ ココニ オイドツカラネ。

うん。でも ここに 置いておくからね。

004B : ハーイ オイデガイン。
はい 置いていってください。

〈 破損の謝罪・許容・不満 〉

(9) AがBに借りたスコップを壊してしまい、謝るときのやりとり。

(9-1) Bが構わないという場合。

001A : アノ カリダ スコップネ、コワシテシマッタノワー。
あの 借りた スコップね、壊してしまったのよ。

モーシワゲナイゲントモ。
申し訳ないけれども。

002B : ハーイ イーンダ イーンダー。イーガラ イーガラー。コンナノ、アノ、
はい いいんだ いいんだ。 いいから いいから。 こんな、あの、

コワレルヨーニ ナッテアンダー。イーガラー、チニスッコト ネーヨー。
壊れるように なってたんだ。 いいから、 気にすること ないよ。

003A : アリガトー。ンデ オイデンカラネー。
ありがとう。それでは 置いていくからね。

004B : ンー。ハーイ ハイ ソコサ オイデデー。
うん。はい はい そこへ 置いておいて。

(9-2) Bが破損に対して不満を述べる場合。

001A : アー コノアイダ カリタ スコップ、ナンダカ
ああ この間 借りた スコップ、なんだか

コワシテシマッタンダヨワー。
壊してしまったんだよね。

002B : ナーндаガ。コワサナイヨーニッテ ユッタッチャー。ンー オレノモ
なんだか。 壊さないようにって 言ったでしょ。 うーん 私のも

ホイヅシカ ネガッタンダワー。
それしか なかったんだよ。

仙台市 場面設定会話

003A : アラ ンデ アダラシグ カッテモラワナゲネワネー。 {笑}
あら それでは 新しく 買ってもらわなきゃいけないわね。 {笑}

004B : イヤ アダラシー モノマデーワ イワネゲントモサー。ンダー キーツケテ
いや 新しい ものまでは 言わないけれどもさ。だから 気をつけて
ツカッテケサインヤ。
使ってくださいよ。

〈 誘いと断り 〉

(10) AがBを復興バザーに誘う際のやりとり。

001A : キョー バザー アンダゲントモ イガナイスカ。イマカラ
今日 バザー[が] あるんだけどもしも 行きませんか？今から

デガケット オモンダゲドモー。
出かけようと 思うんだけども。

002B : アラー ゴメンネー。イヤー イギデーндаゲットモ ニョーボ
あら ごめんね。 いやあ 行きたいんだけども 女房[が]

ドコサダガ イグッテ ユーカラ ツレデガネグネーндаヤー。
どこへだか 行くって 言うから 連れてかなくてはいけないんだよ。

ゴメンネー。コンド サソッテー。
ごめんね。今度 誘って。

003A : ンデ ワタシ イッテクッカラ。ン。
それでは わたし[は] 行ってくるから。うん。

004B : アー ゴメンネ ホントニネー。イズモ サソッテモラッテ ワルイゲットモー、
ああ ごめんね 本当にね。 いつも 誘ってもらって 悪いけれども、

キョーワ ダメナンダヤー。
今日は だめなんだよ。

〈 お見舞い 〉

(11) 体調を崩しているBに、Aが体の調子を尋ねる際のやりとり。

(11-1) Bの調子がいい場合。

001A : オマイニ イコート オモッテ、コナイダ イーヨーダッタケド、
お見舞いに 行こうと 思って、 この間[は] [調子が]良い様だったけど、

ドーダイネー。

どうだろうね。

002B : アー オガゲサンデ ナンカ スコシ ラグニナタヨーナ
ああ おかげさまで なんかも 少し 楽になったような

キースンダゲドモ。 イヤー ワザワザ キテモラッテ
気[が]するんだけど。 いやあ わざわざ 来てもらって

ドーモアリガドネー。

どうもありがとうね。

(11-2) Bの調子が悪い場合。

001A : マタ キテミタンダケドモ、ドー ドーッシャ。
また 来てみたんだけど、×× どうですか？

002B : ンー コノ コノマエワ イガッタンダゲドモ、ナーンダガ カラダガ
うん ×× この前は 良かったんだけど、なんだか 身体が

ダルクテ、ナーンダガ ダメダ。オレモ トスダワナー。

だるくて、なんだか だめだ。私も としだよな。

〈 申し出 〉

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないというBに、Aが「(私が)片付けてやろう」というときのやりとり。

001A : アンダ チョーシワルイッテ ユーガラ、スコシ カタズケテヤッカナート
あなた 調子悪いつて 言うから、少し 片付けてやるかなあと

仙台市 場面設定会話

オモッテ キテミタンダケドモ。

思っテ 来てみたんだけども。

002B : アー ゴメン ホントニ アリガドー。イヤー ナンダカ マエ スコシ
ああ ごめん 本当に ありがとう。いやあ なんだか 前 少し

イグナッタト オモッタツケ マーダ チョーシワルインダー。
良くなったと 思ったら まだ 調子悪いんだ。

ホントニ アリガドー。タノムナー。

本当に ありがとう。頼むな。

〈 禁止 〉

(13) 片付けの最中に、大事な写真をAが間違っテ捨てようとしているときに、Bがそれを制止してどのようにいうか。

001B : アイ コゴ カタズゲデヤ、コイツモ アノ、ステットワ。
あーい ここ 片付けてさ、 これも あの、捨てるよ。

002A : ア アラ ホイツワ ダメ。ソ ソイツ ダイジナンダモノ。
あ あら それは ダメ。× それ 大事なんだもの。

003B : アー ホーガ。ンデ ココサ オッカラナ。
ああ そうか。それでは ここに 置くからな。

宮城県仙台市方言会話集（場面設定会話）担当者

- 収録担当者** 武田 拓（仙台高等専門学校准教授）
 坂喜 美佳（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）
 伊藤 友香（東北大学文学部 3 年）
- 文字化担当者** 坂喜 美佳（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）